

フェアライト Live

*さらに詳しい情報は、お問合せください。

技術仕様

ライブオーディオプロセッサ

- 2Uあるいは4U ラックマウントユニット
- FPGA ベースのクリスタルコア・オーディオエンジン
- デュアル入力および完全二重化電源
- エラーログ付自動自己診断機能
- 4 MADI 入力 (全部で 256 チャンネル) 標準装備で、オプションとしてさらに 1 MADI 入力
- 4 MADI 出力 (全部で 256 チャンネル) 標準装備で、オプションとしてさらに 1 MADI 出力
- 4 アナログライン入力と 12 アナログライン出力 (XLR)
- 2 デジタル入力と 6 デジタル出力 (XLR、全部で 4 入力、12 出力)
- タイムコード完全対応 (LTC ジェネレータとリーダー)

ライブリモート I/O

- 複数の 4U リモート I/O ユニットに対応
- 各リモート I/O ユニットは最大 21 の I/O モジュールを格納可能
 - 4 チャンネル - 24 ビット A/D コンバータ付きマイクプリアンプ
 - 8 チャンネル - アナログ入力カード
 - 8 チャンネル - サンプルレートコンバータ付き AES/EBU 入力カード
 - 8 チャンネル - アナログ出力カード
 - 8 チャンネル - AES/EBU 出力カード
 - 64 チャンネル - 2 パラレルトランシーバ MADI 光 I/O カード (マルチモード)
- 制御用イーサネット接続

ミキサ構成 [1]

- 最大 250 入力チャンネルおよび 112 バス
- 各チャンネルに A/B 入力
- 8×メイン出力 (モノ、ステレオ、5.1)
- 24×サブグループ出力 (モノ、ステレオ、5.1)
- 24×Aux 出力 (モノ、ステレオ、5.1)
- 24×マルチトラック出力 (モノ)
- 16×ミックスマイナスバス

- 1×ダイレクトアウト (チャンネル毎)
- 1×インサート (全チャンネル、メイン、サブ、Aux バス)
- 32×VCA グループ
- 6 バンド EQ (全チャンネル)
- 4 バンド EQ (全メイン、サブ、Aux バス)
- 各チャンネルにダイナミクス処理機能 (エキスパンダ/ゲート、コンプレッサ、リミッタ)
- 全メイン、サブ、Aux バスにコンプレッサとリミッタ
- 各チャンネルに 2 秒までのディレイ挿入可能
- 4×トークバックグループ
- チャンネルミックマイナス、チャンネルダイレクトアウト、バスにトークバック可能
- 最大 16×モノミックスマイナスバス

その他の機能

- オフライン・ミックスセッション準備ツール
- シーンベース・オートメーション (ライブモード)、タイムコードベース・オートメーション (ポストモード)
- ビルトインスクリプト言語による高度なカスタマイズツールとピクチャキー・マッピングツール
- 広範囲な GPI/O サポート

録音再生機能 (オプション)

- 最大 128 ストリームまでのオーディオと SD/HD ビデオストリームの記録
- 最大 128 ストリームまでの録音済みオーディオの再生
- 最大 28 ボイスと 8 出力バス対応のカーブ機能

ポストプロダクションモード (オプション)

- 最大 256 トラックおよび 80 バス対応の完全なオーディオポストシステム。VST プラグイン、ビデオガイドトラック、広範囲なメディア、EDL ファイルフォーマットのサポート。

[1] V5.1 は 2015 年第 2 四半期リリース予定。